

08 年度国内競技規則「技術仕様」の変更点のおしらせ

2008 年 1 月 1 日から適用される、ST600・JSB1000 クラスの技術仕様の変更点を中心に告知いたします。

以下の案内（規則変更内容）は、変更時間に時間を要するものや重要事項を優先して案内いたしますので、以下の記載以外の規則変更は、「2008 年度 国内競技規則書」でご確認ください。

ST600・JSB1000 技術仕様 共通項目

1. エンジン 2 次ケースカバーの装着について

07 年度予告事項で記載した規則であるが、ST600 および JSB1000 クラスは、FIM 世界耐久選手権および WSS600 の FIM 規則との整合性をとるために予告事項から下記のとおり変更しています。

2 次カバーに関する規則運用時期は、準備期間を設け、4 月 1 日からの規則施行いたします。

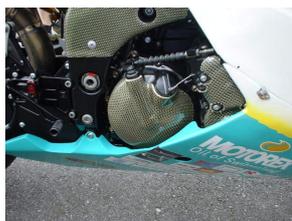
<新規則>

転倒時に地面と接触する恐れのある全てのエンジンケースは複合素材（カーボンまたはケブラー製）の 2 次カバーによって保護されなければならない。

解説：エンジンケースの 2 次カバーは、フェアリングに覆われているいないに関わらず、取り付けが義務化される。

2 次カバーは、転倒時に路面に対し接触する可能性のあるポイントは 2 次カバーで覆われていなければならない。

<実施例>



また、SP250/400・GP-MONO については、以下のとおりの記載となります。

転倒時に地面に接触する恐れのあるフェアリングに覆われていないオイルを保持する全てのエンジンケースは 2 次カバーを取り付けなければならない。材質は、樹脂製とする。また、フェアリングの延長によるカバーも認められる。

アンダーライン部分が、JSB・ST600 クラスとの相違点になります。

フェアリングに覆われていない部分をフェアリングの延長によるカバーも認められます。

2. JSB1000 クラスに関する変更点

FIM スーパープロダクションクラスと JSB 規則の整合性を取るための変更箇所

世界耐久選手権のスーパープロダクションクラスに JSB1000 クラスの車両が参加できるようにするため、FIM 規則との整合性を取るための改定

① 排気量区分

4 気筒	600cc－1000cc	4 ストローク
3 気筒	750cc－1000cc	4 ストローク
2 気筒	850cc－1200cc	4 ストローク

② 最低重量

各気筒数別車両の最低重量は以下のとおりとする。

2 気筒 (1200cc)	170 kg
3～4 気筒 (1000cc)	165 kg

※ 2気筒 (1200cc) の重量については、シーズン中に見直される場合もある。

③ クラッチ

- 7-24-4-1 タイプ (乾式・湿式) と操作方法 (ケーブル・油圧式) が公認車両と同じであることを条件にアフターマーケットまたはクラッチの改造が許可される。
- 7-24-4-2 バックトルクリミッターの使用が許可される。

④ カムシャフト及びカムプロケット

- 7-24-8-1 カムシャフト
- 7-24-8-1-2 カムシャフトは公認車両のものから変更または交換が認められる。カムプロフィールの寸法は自由とする。
材質及びカムシャフト駆動方式は公認時の状態を維持しなければならない。
- 7-24-8-1-3 カムチェーンまたはカムベルト及び調節機構 (アジャスター) は自由とする。
- 7-24-8-2 カムプロケット
- カムプロケットまたはカムギヤは、カムシャフトの角度調節のために公認時のものから変更または交換することができる。 サイズおよび材質は公認時のものを維持しなければならない。
- 7-24-8-3 バルブスプリングは変更および交換することができるが、バルブの変更は認められない。

3. ST600 クラスに関する変更点

⑤ エアダクト

- 7-3-10-1-4 フェアリングとエアーボックス間を通るオリジナルのエアーダクトは、改造または交換が許可される。カーボンファイバー/ケブラー素材の使用は禁止される。

⑥ スイングアームカバー

- 7-5-4
スイングアームの側面にカバーを取り付け広告スペースと活用することが許可される。
材質は樹脂製 (FRP または PP で、厚さ 1mm～2mm) に限定され、取り付け目的のボルト穴加工は認められる追加のボルト穴加工の場合は 6mm に限定される。
(既存のボルト穴使用の場合は、サイズは規定されない)



4. GP-MONO クラスに関する変更点

⑦ 始動装置関連

2-7-2 始動装置（キックまたはエレクトリック・スターター）が取り付けられなければならない。
始動装置は正常にエンジンを始動させることができなければならない。
ただし、キックペダルは走行時邪魔にならないように固定すること。

⑧ キャブレター

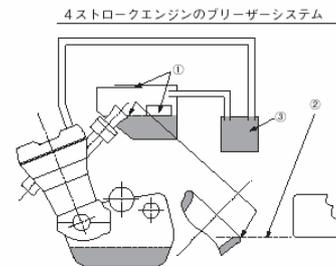
3-1 キャブレターは、ベースエンジンに装備されたキャブレターに限定される。

⑨ クローズドブリーザー

5-14-7-1 全ての車両は**クローズド**ブリーザー・システムを採用していなければならない。
すなわちオイル・ブリーザー・ラインはオイル・キャッチタンク、およびエアクリナー・ボックスに連結され、これに排出する構造となっていること。

5-14-7-2 キャッチタンクの容量はオイルキャッチタンクが最低 **500 cc**、オイル・キャッチタンクと エアクリナー・ボックスの合計で最低 **800 cc**とする。

5-14-7-3 フレッシュエア取り込みのための
エアダクトの追加は認められるが、RAM 圧は
禁止される。
エアダクトの取り付けがなく、エアクリ
ナーボックスに直接孔を開ける場合は、その
合計が直径**45mm**相当の面積以下とする。



5. ST250/400 に関する変更点

⑩ 指定タイヤの変更について

年度	クラス	メーカー	パターン
2008-2009 年	ST250	ダンロップ	SPORTMAX GPR α -10F (F) SPORTMAX GPR α -10 (R) TT900FGP (F) TT900GP (R)
	ST400	ブリヂストン	BATTLAX BT-090 RADIAL (F) BATTLAX BT-090 PRO RADIAL (R) BATTLAX BT-021 RADIAL (F&R) BATTLAX BT-45 (F&R) (BT-45V 除く)